



制限のない県高校総体が開催されます。最後の調整は順調に進んでいますか？

高校総体への覚悟！

総体に参加する選手の中には県外・海外からその競技で勝つことを目標に来県した生徒もいることでしょう。そんな選手には取り組みへの覚悟があり、その覚悟が上達への大きな力になっていると思います。

大リーグで活躍している大谷翔平選手は試合で何度もニューヨークへ行っているのにニューヨークの街を歩いていないという記事がありました。大谷選手の目的は試合に勝つことです。そのためには体調コントロールに時間を費やすことが最重要事項であり、街を散策せずにしっかりと体を休めているとのことでした。大谷選手の覚悟にはプロ意識を感じます。

以前、勤務していた学校に全国大会へたびたび参加する部がありました。県総体に生徒を引率したとき、たまたまその部と同じ宿に泊まることとなりました。そのときの生徒の行動をみていると、なるほどこれが全国大会にたびたび出場しているチームの姿なのだと納得しました。

その部は3年生が全体をリードし、引率の先生が指示をしなくても3年生の指示で部員全体が動いていました。就寝時間になればすぐに寝て、起床時間になれば身支度を調べて朝のトレーニングに出かけて行くなど試合に向けた体調管理を自主的に行っていました。試合は勝負事です。勝つという目標にむけた覚悟を持った自主的なトレーニングが選手の自信を育て、その自信が試合での結果につながっていると実感しました。

試合に臨む覚悟が重要なことは皆さんにも理解してもらえそうです。ところで覚悟のレベルについてはどうでしょうか。すでに取り組んでいる皆さんも自分の覚悟のレベルを振り返ってみてください。そして友人や他校のチームの選手の覚悟のレベルと比較してみてください。自分ではこれだけのことに取り組みれば大丈夫だろうと思っても、もっと上のレベルで取り組んでいる選手たちがいることに気づくでしょう。他者の覚悟を知ることは、自分で覚悟のレベルに上限をつくっていないかを確認するための参考になります。そして、そんな他者がよきライバルとなるのでしょう。

みなさんが覚悟を持って試合に臨み、成長した成果をつかんでくることを期待しています。全校生徒で選手の皆さんの活躍を応援しましょう。

校長 松川 明義

【行事予定】5月24日(水)：内科検診(3年)

25日(木)：開校記念日

26日(金)：短縮3限授業、壮行会

27日(土)～29日(月)：高校総体

28日(日)：第二種電気工事士(筆記試験)

29日(月)：JRC 交歓研修会

30日(火)～31日(水)：高校総体の振替休日



米工 HP